選挙投票 101

新規有権者のための選挙情報

投票資格がある人とは?

投票資格についての規則は州によって多少異なりますが、一般的には下記が義務付けられています。:



・ アメリカ合衆国に国籍を有する市民



• 選挙投票を希望する地域における居住者 (最低居住期間の場合もあります。)



・ 年齢18歳以上の市民 (18歳未満であっても地方選挙または予備選挙などに登録・投票を許す地域もあります。)

全てではありませんが、中には、重罪判決、司法判断、あるいはその他の措置を受けている市民には投票資格を与えない州もあります。投票資格の確認は、居住している州あるいは地元の選挙管理当局にお問い合わせ下さい。地元の選挙管理当局の連絡先は、<u>www.vote.gov</u>にてご確認いただけます。

投票手順 1-2-3



投票のための登録



ほとんどの州において有権者は、投票に先立って、選挙人登録をしなければなりません。
www.eac.gov/vote
のウェブサイトをご利用になり、登録期限など、州ごとの情報をご確認下さい。

- オンライン登録 オンライン上での投票登録、あるいは登録確認を許可している州もあります。各州についての情報確認は、www.eac.gov/voteのウェブサイトをご覧ください。
 - -または-
- 対面登録 地元の選挙管理当局に自ら出むいて登録する。
 - -または-
- 郵便登録 署名した選挙人登録票を郵送して登録する。州ごとの指示と登録票は、下記のウェブサイトからご覧頂けます。登録票は、21か国語に翻訳されています: www.eac.gov/voters/national- mail-voter-registration-form.

2 情報収集

選挙投票についての最も信頼できる情報源は、州および地元の選挙管理当局です。地元の選挙管理当局は、有権者の選挙人登録の状況確認をしてくれる他、投票日や投票場についての情報を提供してくれます。地元の選挙管理当局はさらに、投票用紙のサンプルや、投票用紙に載る予定の候補者や案件についての情報も提供してくれるかもしれません。



ページ 1/2





いざ投票!



現場投票

- あなたに指定されている投票場を確認しましょう。
- 投票する州における投票場の、会場時間をチェックしましょ
- う。

必要書類がすべて揃っているかを確認しましょう。



投票場に着いたら:

- 投票立ち合い人と投票手続きを済ませ、投票用紙を受ける資格がある事を確認してもらいます。投票用紙を もらう前に、政府発行の写真付き身分証明書を提示することを義務付けている州もあります。
- あなたの選択を記録する投票用紙が渡されます。選択の記入を誤った場合には、代わりの投票用紙を要 請する事も出来ます。投票用紙への記入が済んだら、投票用紙を提出します。投票用紙が投じられた時 点であなたの投票が記録されます。

郵便投票

居住する州にもよりますが、郵便で投票用紙を受領する資格が与えられるかもしれません。地 元の選挙管理当局に問い合わせ、郵便で投票用紙を受領する資格があるかどうか、記入済みの 投票用紙はいつどこへ返却するのか、そして投票用紙の郵便追跡はどの様にするのかを確認し てください。



アクセス性



現場投票・郵便投票に関わらず、投票の際の支援要請をする事が出来ます。管轄地域によっては、英語以外の 言語でも、投票用紙や選挙関連資料を提供する事があるかもしれません。

有権者に出来ることは?

有権者の一人ひとりが、選挙が公正、正確、かつ安全に行われる様手助けをする事が出来ます。下記はそのいくつかの例です:



- 有権者になったら、素早く選挙人登録を済ませる
- 選挙人情報を常に更新しておく。氏名、住所、所属政党などに変更があった場合は、地元の選挙管理当局に 連絡する。
- 選挙投票の手順に関する情報は、信頼できる情報源から入手する。

最後に、最も役に立つ支援は投票立ち合い人のボランティアとなる事です。選挙には、皆さんのような何万人にもの コミュニテ ィ・ボランティアを頼りとしています。地元の選挙管理当局に、どの様なボランティアのチャンスがあるかお問合せ下さい。各州 についての情報は、こちらからどうぞ: https://www.eac.gov/help-america-vote

ページ 2/2

EAC | 米国選挙に支援の手を









